

## 令和6年度事業報告

熱海市地域共生プラン「あったまる熱海」の基本理念に基づき、当会の第5次地域福祉活動計画を定め、以下の事業に取り組めました。

### 1 お互いさまから始まる思いやりのこころづくり

地域福祉を支える意識の醸成として、社協だよりを年2回全戸配布し、地域の方々に読まれる書面をめざしました。

また、福祉教育の推進として、8月に市内の中学生・高校生を対象としたサマーボランティアを開催しました。

2共に生きる地域づくりとして、ボランティア・NPO参加の活動、移動支援の活動・地域の有償ボランティア「こつこつ」等の活動場所、機会の提供を行いました。

また、生活支援体制整備事業の推進として、泉・伊豆山地区、南熱海地区でそれぞれ協議体を開催し地域課題などの話合いや熱海地区の西部地区地域づくり事務局の地域問題点や地域の在り方などの会議で情報共有や意識統一を行いました。（25回参加）

また、サロン活動に参加している又は参加していた方の中で歩行に不安をかかえる方に、サロン会場までの送迎サービスを実施しました。

### 3 みんなにやさしい

ひとづくりとして、

重層的支援体制整備事業の推進では、行政や包括的相談支援事業所、就労支援事業所、障がいサービス事業所などの関係機関と事業内容に関する意識統一や連絡方法などの共有化を図りました。

また、権利擁護事業や生活困窮者の自立支援対策として、次の事業を実施しました。

（1）日常生活自立支援事業の推進として、判断能力がわずかに低下した利用者に対し、日常的な金銭管理の支援を実施しました。

（2）成年後見センター事業の充実強化に努め、当市で初となる市民後見人が誕生し、社協として後見監督業務を実施しました。

（3）生活困窮者自立支援事業の実施として、一人のために出来る支援を目指して、「生活困窮者の自立と尊厳の確保」と「生活困窮者支援を通じた地域づくり」を目的に、相談体制の充実を図りました。

### 4 介護保険事業の充実

居宅介護支援事業、訪問介護事業に取り組む中で、利用者の確保や職員の資質向上に努めました。